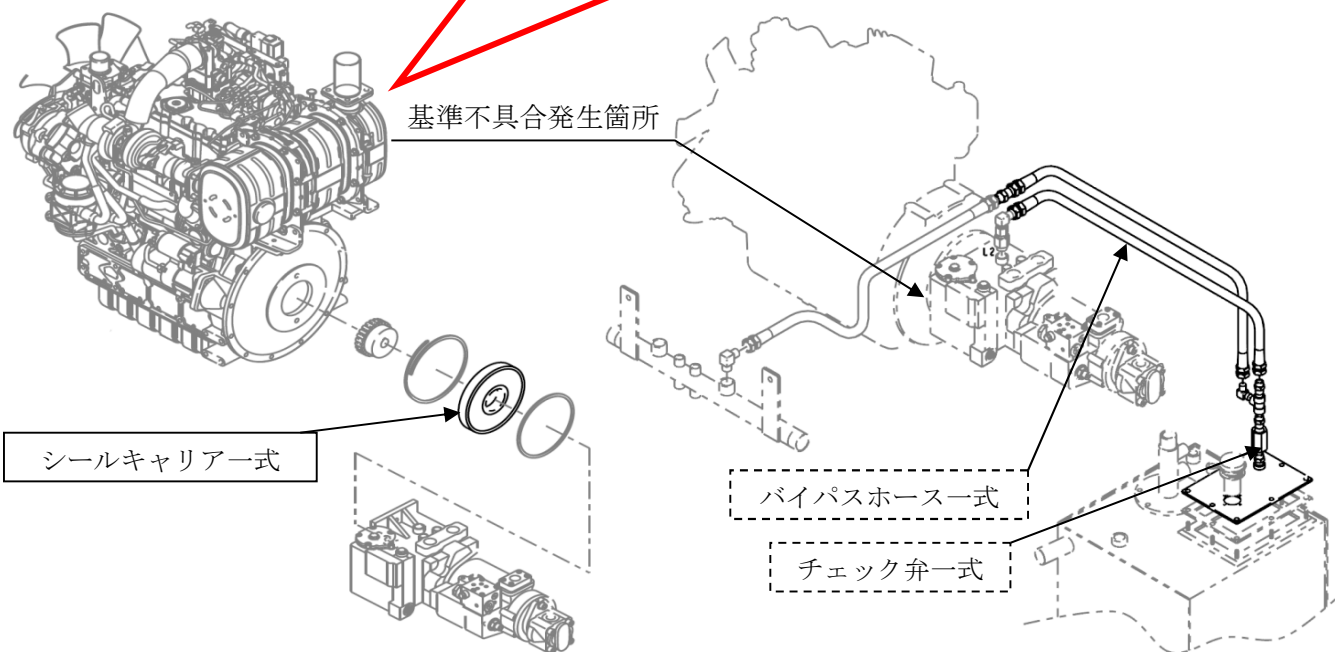


【改善箇所説明図】



注： は交換する部品を示す。 は追加する部品を示す

アスファルト・フィニッシャの静油圧式無段変速機（HST）において、油圧回路の構造が不適切なため、エンジン始動時に走行ポンプケース圧力が許容値を超え、走行ポンプ軸シールが変形し、過度にポンプ軸に接触することがある。そのため、エンジン始動を繰り返すと、当該シールが摩耗して作動油が漏れ、最悪の場合、走行不能となるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、走行ポンプ軸シールキャリアー式を新品に交換し、加えて、作動油タンクにバイパスホース及びチェック弁一式を追加する。

識別

改善済車両には、チェック弁は追加されるので、チェック弁の有無により行う。